

くにさきはんとう うさちいき

国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会

次代へ繋げよう！世界農業遺産の輪



中学生特別授業



小学生向け教材本を活用した啓発



バスツアー(工場見学)

取組概要

- 平成25年5月「世界農業遺産」として認定を受けた後、「次世代への継承」「地域の元気づくり」の2つを柱に取り組む。
- 「次世代継承」として、小学生には教材本配布や作文コンクールを。中学生には、生産者等を講師とする授業や「中学生サミット」を。高校生には、生産者ヘインタビューを行う取組等を実施。
- 「元気づくり」として、都市圏の方を対象に、工場見学やしいたけ収穫体験などのバスツアー等を実施。

活動成果

- 世界農業遺産の認定により、住民が自らの地域に誇りを持つきっかけとなり、ウォーキングコースの開発や、廃校を活用した農村博物館の整備など、地域おこしが進展した。
- 小・中学生への次世代継承教育により、身近な農林水産業について見直す機会となっている。
- バスツアーでは、「体験ができる内容がとても良かった。」等の感想が寄せられている。

だいめいこうく

大明工区資源保全組合

「大肥の庄」の恵みは絶やさない



水路の草刈り、泥あげ作業



農業体験塾 田植え体験



景観作物(チューリップ)

取組概要

- 平成10年大肥郷ふるさと農業振興会を立ち上げ、多集落1農場を目指し、共同営農部門を平成15年に法人化。
- 平成19年から農地・水・環境向上対策を活用し、農地・水路の維持保全、景観保全や農業体験等に取り組む。
- 都市住民や子どもたちを対象に農業体験塾を開催。年間を通じた農業体験(田植、稲刈、生き物調査、漬物作りなど)や季節の花を植え、景観形成にも寄与。

活動成果

- 多集落1農場の推進により、低コスト、高品質農業を実現するとともに、農地・水等の良好な保全管理を実行した。
- 集落ぐるみの共同活動でコミュニティが強化され、また都市住民との多彩な交流で地域が活性化している。
- 米・麦・野菜の販売はもとより、加工品の収益確保や、景観作物の搾油などの新たな事業展開を目指している。

大明工区資源保全組合

大分県日田市夜明上町693-1

Tel :0973-27-7211 Fax :0973-27-7210

しんすいき

進水式を推進する会

造船会社は3つ。進水式の回数なら負けない。



進水式(佐伯重工業)



進水式予定を示す「吊り旗」



新聞記事

取組概要

- 造船会社が3つあり、進水式をきっかけにしたまちおこしに挑戦。交流人口とその滞在時間の増加を目指す。
- 進水式を見に来た観光客を、宿泊・食事・買い物・他の観光につなげるため、壮大な進水式をポスター、旗、のぼりなどでアピール。
- 進水式の予定を視覚的に、また観光客の歓迎の雰囲気を知らせる。また進水式の様子を、写真や動画でSNSで発信しPR。

活動成果

- 造船会社の職員の仕事への誇りが醸成され、また造船業のイメージアップにつながっている。
- 壮大な進水式への参加は、無料で自由参加できることのお知らせが広くできた。
- 対外的に佐伯市のアピールにつながるとともに、市民の進水式への理解が深まった。今後、市内関係者の協力で、お得感のある観光客誘致運動に育てたい。

進水式を推進する会
大分県佐伯市城下西町

Tel :080-8576-7128

うすきツーリズム活性化協議会

臼杵時間体感！みんなが臼杵を好きになるプロジェクト



竹ものづくり体験イベント



外国人モニターツアー



うすき100年弁当

取組概要

- 協議会は、GT研究会、うまいもん加工協議会、吉四六の里観光協会、臼杵市観光協会で構成し、農泊、特産品開発、観光を柱にコーディネート。
- 「竹を活用したまちづくり」をコンセプトに、市民団体が連携してイベントを開催。インバウンドの誘致にも力を入れる。
- 特産品・田舎料理・石仏・祭りなどの資源を活用。農村民泊のセットプランにより、臼杵ツーリズムスタイルを確立し、移住も促進。

活動成果

- 協議会を通じて、各実践団体のつながりができ、市民の独自のスキルを生かした募集型ミニイベントなど、滞在者のニーズに合った体験の場を提供している。
- 移住希望者向け農泊ツアーでは、臼杵独自の人・食・自然の魅力を発信し、大きな効果が出てきている。
- 地域内外の連携を更に強化し、企業・団体向けの研修プラン（臼杵の魅力を体感できる商品）の開発を目指す。

あわてばる

栗手原資源保全推進協議会

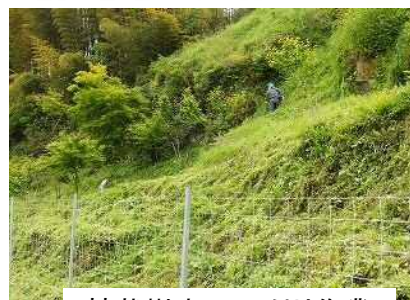
こころの故郷栗手原（かかし祭りをとおしての地域交流）



かかし祭り



かかし祭り 保育園児表彰



植栽樹木の下刈り作業

取組概要

- 平成19年から、農地・水・環境保全向上対策に取り組み、農道、水路等の良好な管理に取り組む。
- 併せて平成21年から、高齢者から子どもたちまで地域住民みんなの交流を図るため「かかし祭り」を開始。
- 景観維持のため、もみじと牡丹桜を植樹し、下刈り・剪定等により、良好な里山を形成。

活動成果

- 共同作業、共同活動により、地区内のコミュニケーションが活発化。良好な農道・水路等の環境が保全されている。
- かかし祭りは、小学校・保育園や各種団体と連携して、かかしを毎年製作して、農道脇に展示。高齢者が小学校等に出向き、かかし製作を指導している。
- 地域全体の交流が図られ、美しい田園風景が守られている。

ぶんごたかし

豊後高田市グリーンツーリズム推進協議会

国東半島世界農業遺産の地でおもてなし



入村の様子



農業体験



座禅体験

取組概要

- 平成18年に、農家7戸と市役所農林振興課で、所得向上や地域活性化を目指して協議会を発足。
- 市内にある40軒の農家民宿を利用し、外国人の団体受入を実施。民宿ごとに独自の体験・食事・宿泊を行う。言語は「指差しカード」で対応。
- 体験メニューは、地域を活かして、野菜栽培、そば打ち、料理体験、寺社仏閣の散策・写経や座禅、和太鼓体験など多様な体験メニューが人気。

活動成果

- 農業体験・食事・宿泊が基本であるが、各受入農家民宿は、年間を通じ多彩な体験メニューを用意。日本の文化や生活に触れていただくことを目標としている。
- 心のこもったおもてなしがモットーで、そのことを大切に情報発信やPRを行っている。
- 季節を問わず入村しており、受入農家の所得向上や市内施設入場者の増加に貢献している。

豊後高田市グリーンツーリズム推進協議会
大分県豊後高田市新町989-1

Tel :0978-25-5805 Fax :0978-23-1870

にしおおほり

西大堀地区農地・水・環境保全組合

環境と農業資源の保全活動で村をきれいに！人を元気に！



長寿会・婦人会・子供会合同の清掃活動



泥上げ作業



広報誌(秋号)

取組概要

- 平成19年、農業者をはじめ、地区の自治会、長寿会、婦人会、青年会、子供会等地域ぐるみで農業資源や環境の保全を目的に設立。
- 草刈り、泥上げ、ゴミ拾い、施設の補修、花の植栽など、地域全体で取り組むことにより、世代間の交流や地域コミュニティの活性化に寄与。
- 非農家の理解もあり、活動への参加率も高く、年4回の広報誌も発行。

活動成果

- 自治会をはじめ、各種団体の理解や協力が得られ、スムーズな活動へ移行できた。
- 地区のコミュニティ強化に伴い、年間の活動計画が住民総出で実施されており、良好な農道・水路等の維持管理や環境の保全がなされている。
- 地域全体の交流が図られ、美しい農村景観が守られるとともに、住民の当たり前の活動となっている。

しもりやま

下森山環境保全組合

神様と仏様にいただいた森山の自然を後生に
(農家と非農家の連携による農村の維持保全)



遊休地を活用し、ひまわりを植栽



地区内の清掃作業



食育体験

取組概要

- 平成24年、JR駅に近く混住化が進む中、地域住民との共同作業を通じ、農地・水等の資源の保全管理と農村環境を守るため、組合を設立。
- 農地・水等の農業施設の維持管理はもとより、地区内の公園・道路・水路等の環境美化に全世帯で取り組むとともに、休耕田を活用し(景観作物としてひまわりを植栽)フラワーロードを形成。
- 子どもたちの野菜の収穫体験などを通じ、地域コミュニティを強化。

活動成果

- 地区内の清掃作業等により環境美化がなされ、農地・水等の保全はもとより、地域の環境保全につながっている。
- 地区のコミュニティ強化に伴い、自治会・老人クラブ・子供会等の行事が活発化し、世代を超えた交流となっている。
- 食育体験や農業の楽しさを学べる収穫体験を通じ、農業後継者の育成や地域の伝統文化の継承に寄与している。

下森山環境保全組合
大分県宇佐市大字森山869

Tel :0978-32-1995

あじむまち
NPO法人安心院町グリーンツーリズム研究会

グリーンツーリズムの発祥の地「安心院町」



農泊で教育旅行の受入



海外企業の農泊体験受入



グリーンツーリズム欧州研修

取組概要

- 1日1組を原則として、農作業や料理づくり、食事などを通じて、農村のあるがままの暮らしを体験する農村民泊を実施。
- 先進的な欧州の農村の姿を学ぶ欧州研修、おもてなしの質を高めるための農泊実践者向けの研修会を開催。
- 農泊家庭の料理を120品集めた食のイベントや川歩きイベント等を開催。

活動成果

- 平成8年には8軒だった農泊受入家庭が60軒に増え、年間延べ日数1万人が訪問。
- 60軒の年間売上は平均で120万円あるなど所得向上につながっているほか、地域の農産物直売所等への地域経済波及効果も大きい。
- 海外からの農泊客も約1千人から約2千人と約2倍に増加(H23-27)。

株式会社生活工房とうがらし

生活工房とうがらしから伝える大分の食



タイバンコク国際商談会「ごはんセミナー」



第4回SUPERVISIONS



生活工房とうがらし建物全景

取組概要

- 「日常の食を非日常で味わう自分たちの足元を見直す食を研究したい」との思いから、1997年台所だけの建物で伝承料理研究に取り組み、2015年に法人化。
- 郷土料理を始めとして地元に息づいてきた日常の料理を伝承。また、ゆず胡椒や乾しいたけ等を使った商品や料理を国内外に発信。
- 学校給食や栄養士等と連携し、食育はもとより「大人の家庭科塾講座」や女性によるコミュニティビジネス講座も開催。

活動成果

- 世界農業遺産認定の国東半島の宇佐地域では、農業を背景に、景観や伝統文化に加えて、食材や食文化の活動をビジネスへとつなげ、所得が向上。
- 首都圏等に発信することにより、消費者のニーズを把握するとともに、生産者・消費者と共有しながら商品を開発している。
- 外から見る視点の重要性、外からの産地訪問等の交流の中、自分たちの農業の見直しや経営の改善を実行している。

深見地区まちづくり協議会

みがけ 地域の宝物



安心院神楽保存会



荒廃農地での牛の放牧



料理・菓子づくり勉強会

取組概要

- 市の行政と住民による共同のまちづくりとして、平成21年に発足。地域を考え行動できる、地域主体のまちづくりを実践。
- 自然や景観の保全のため、各種団体が連携して草刈りや花壇の手入れ等を実施。また、荒廃農地対策として牛を放牧。
- しめ縄づくり等の伝承活動や安心院神楽保存、地域食材を使った料理講習、さらには、子どもの教育体験のため、大分大学生と地域の交流を目的としたフットパス、秋祭り等を住民主導で開催。

活動成果

- 少子・高齢・過疎の進む中、個別団体が難しかった活動が、団体相互の協力で復活や継続可能な活動となった。
- 地域外との交流により、地域の宝(資源)としての再認識及び自信・自慢につながった。
- 行政との協同により、活動資金において、自立運営の収益事業(農道・山林の整備)の目処がたち、今後の活動継続が見込まれる。

深見地区まちづくり協議会(事務局:宇佐市地域交流ステーション内)

大分県宇佐市安心院町矢畑442番地2

Tel :0978-44-4544

Fax: 同左

大野町みどり保全隊農地・水・環境保全 管理協定運営委員会

花の社会性が地域を変える



シバザクラの開花状況



盛り土と土壌流出対策



地域総出での植栽作業

取組概要

- 大野町土地改良区が中心となって、農地・水・環境保全向上対策に取り組むため、平成19年に設立。
- 農地・水路の維持保全はもとより、地区内全域を対象にシバザクラを順次植栽。各集落は雑草処理を行い、防草シートを敷く。そして植栽は集落総出で実施することで集落の連帯感を醸成。
- 新たな活動として、傾斜畑にグリーンベルトを施し、道路側溝からの土砂流出を軽減。

活動成果

- 景観保全を図るだけではなく、農作業の中で大きく時間を要する草刈り作業の軽減につながっている。
- 地域の共同でシバザクラを植栽することによって、地域の連帯感が醸成されるとともに、シバザクラの管理の面で高齢者の生き甲斐となっている。
- 傾斜畑からの土壌流出率が軽減し、排水路の土の堆積も少なくなった。

大野町土地改良区

大分県豊後大野市大野町田中2600-4

Tel :0974-34-2723

Fax :0974-34-2722

ぶんけいさと 地域起こし協議会 文溪里の会

自然が生き、人が生き、地域が活きる文溪



ウオーキングでため池見学



案山子コンクール



農村博物館(昔の農耕具など)

取組概要

- 「文溪里の会」は旧大恩小学校区(3行政区)でつくる地域起こしの会で、2012年に設立。2013年の世界農業遺産認定後は、それを活用した地域づくりに取り組む。
- 地下水路(貫)、ため池、クヌギ林を活かしたウオーキングコースを2013年の秋に開設。参加者には地元食材を使った炊き込みご飯や猪汁でおもてなし。
- 全国的に有名な「とみくじマラソン」に合わせた案山子コンクールの開催。旧大恩小学校舎に、昔の農耕具や生活用品を展示した「農村博物館」にも注目。

活動成果

- クヌギ林とため池の循環システムをアピールする中で、長い間水との闘いを続けてきた先人たちの思いや知恵を学ぶ取組につながった。
- 地域外からも多くの人が各種イベントに参加され、交流人口の増加と観光振興に寄与している。
- 多くの小・中学校で、クヌギ林やため池の見学、しいたけのコマうちなどの体験学習に活用されている。

せんちょうむた
千町無田資源保全組合

高原の美しい田園風景を後世に



クリムソクローバーの開花状況



農道・水路の草刈り



水仙の開花状況

取組概要

- 平成19年、農業者をはじめ、地区の自治会、老人会、子供会、消防団、土地改良区等地域ぐるみで農業資源や環境の保全を目的に設立。
- 農道や水路の草刈り・清掃や、花の植栽などを地域全体で取り組むことにより、美しい農村を維持。
- 阿蘇・くじゅう国立公園内の美しい自然を背景に、農道沿いに四季折々の花を植栽。菜の花、水仙、クリムソクローバーなど観光客に人気の場所。

活動成果

- 沼地からの開拓地であり、先人たちの努力に感謝しながら、良好な農道・水路等の維持管理や環境の保全がなされている。
- 美しい景観形成への取組について、地域住民・団体の理解と協力のもと、手入れの行き届いた活動となっている。
- 農道脇の除草、花の植栽により、美しい景観を楽しんでいただくとともに、地域みんなで作業することによって地区のコミュニティが図られている。

千町無田資源保全組合

大分県玖珠郡九重町大字田野2415番地576 Tel :0973-79-2804